

# 荒川化学「環境・社会報告書2019」のアンケート結果

「環境・社会報告書2019」に添付しましたアンケートに対し、38名(グループ従業員を除く)の方々から回答をいただきました。ご協力いただいたの方々に対して厚くお礼を申し上げますとともに、その内容をご紹介します。

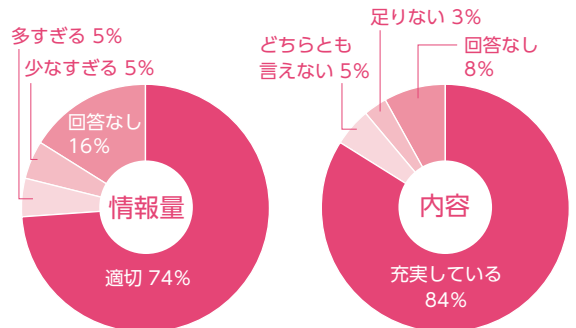
## ■環境・社会報告書全体への感想

- 富士工場の事故の原因やその後の取り組みが心配でしたがこの報告書で確認できてよかったです。
- 事故報告をトップメッセージの次に位置付けられている点が、すばらしいと感じました。ネガティブ情報をあえて冒頭に特集されることはメーカーとしての真摯な姿勢が感じられてとても好印象でした。
- SDGsの対象を昨年までの4目標から5目標に拡大され、開発目標と提供される価値が明示されており、企業としての方向性がよくわかります。
- 文字が細かいですが、写真や図も上手く使われ、特にテーマごとに色分けされていたので最後まであきずに読み切れました。
- 「ARAKAWA WAY 5つのKIZUNA」をしっかりと継続してストーリーの土台枠組としており、敬服します。
- 合成樹脂も最終的には、自然の物を目標としてきました。樹皮や繊維で自然に帰る物へ変わっていくのでしょうか。
- 海外での取り組みについてももう少し詳しく知れたらなおいい。

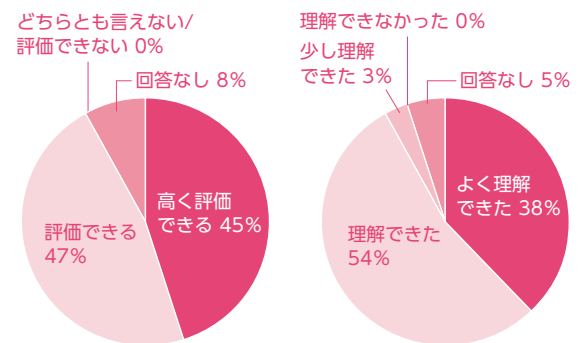
## ■特集への感想

- テーマごとに(課題ごとに)まとまっているし、イラストも入ってとても理解しやすいと思いました。
- 環境配慮型製品の売上比率が50%を超えていることはすばらしいと思います。
- さまざまな課題やニーズに対して取り組まれそれを解決し、事業拡大につなげられていることは、すばらしいことだと思いました。
- SDGsの観点から社会の課題解決に貢献している点を貴社の具体的製品(技術)と結びつけて説明され、よく理解できました。
- ロジン関係製品を深く掘り下げ(対中国等)研究にて会社の原点を極めていただきたい。
- BCPの観点からも環境配慮型製品の開発で成果を上げてください。

## ■環境・社会報告書全般について



## ■環境面、社会面への取り組みについて



## ■参考になった、興味を持たれた項目について(複数回答)

